



横浜市立富岡小学校

学校だより12月特大号



150周年を祝う会・記念式典、発表とみおかタイム 大成功！

校長 浅野 修一

早いもので令和5年の師走を迎えます。このところ、寒い日と暖かい日が交互に続くなど、これまであまり経験したことのない「秋」を感じています。皆様はいかががお過ごしでしょうか。これから、年の瀬に向けて寒さも厳しさを増してくる中、コロナやインフルエンザなどの感染症も心配になってきます。これまでやってきたことを継続しながら、自分と周りの人の健康を守る気持ちを持ち続けていきたいものです。

さて、皆様のおかげをもちまして、11月11日(土)に「富岡小学校創立150周年を祝う会・記念式典」を挙行することができました。150周年を祝う会では、各学年で趣向を凝らし、富岡小の150歳をお祝いする発表を行いました。限られた時間の中で、子どもたちは一生懸命に練習し、どの学年も素晴らしい発表を行うことができました。それぞれが富岡小学校の150周年をお祝いしようという気持ちをもって取り組んでいる様子がそこかしこに見られました。永井金沢区長をはじめ、参観いただいたご来賓の皆様から「感動した」「涙が止まらなかった」「元気をもらった」など、子どもたちの活躍をたたえるお言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。

150周年を祝う会に引き続き、山中竹春横浜市長のご臨席を賜り、記念式典を行いました。式典の冒頭に6年生による「富小ソーラン2023～継承(つなぎ)～」を披露しました。地域の方々からいただいた法被に身を包み、思いのこもった演技を披露しました。その後も6年生は富岡小の児童代表として、式典の最後まで堂々とした態度で参加することができました。ご来賓の祝辞に対し、きびきびと「はい！」や「ありがとうございます！」と返答する姿に、多くのご来賓の方々が驚きとともに賞賛の声を上げていらっしゃいました。150周年の最上級生として、とても立派な姿でした。祝う会と記念式典の様子については、今月号の中面にも載せさせていただきましたので、そちらもお読みください。

また、14日に行われた「発表とみおかタイム」でも、入替制による各学年の発表のみだったにもかかわらず、本当に多くの保護者の方々にお越しいただきました。「他学年の発表も見たかった！」という声をたくさん頂戴しました。今回の150周年を祝う会および記念式典に向けた取組では、保護者・地域の皆様には、言い尽くせないほどのご協力をいただきました。皆様の温かい目で育てていただいた子どもたちが、150周年の取組の中でたくさんの感動をもたらしてくれたこと、とてもうれしく思っています。ありがとうございました。

富岡小学校がこれから200周年、250周年と続いていくために、多くの児童と保護者、地域の方々、教職員が集う学校として、人と人とのかかわりや共感を大切に、「ともに みとめあい 教え合い かがやこう」という学校教育目標の実現に向けて、より一層努力を重ねてまいります。地域、保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

富岡小学校創立150周年に際し、寄贈していただいた記念品 一覧

【富岡小学校創立150周年記念事業実行委員会より】

○記念法被(はっぴ) 235着

○140周年記念樹(白梅・しだれ桜)の銘板

【富岡小学校PTAより】

○職員玄関 校名立て看板

○卒業式・入学式用 ステージ吊り看板

○記念横断幕 2枚

○来客用 校名入りスリッパ 90足

○来客控室用ブリザーブドフラワー 3セット

○記念誌「とみおか150」1500冊

○記念ポッキー 800箱

記念品の数々は大切に使用させていただき、長く引き継いでまいります。ありがとうございました。